

早稲田大学 教育学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<特別選考制度入試 学校教育専攻>

【小論文】

●問題冊子 2ページ :問題(4)

(誤)

社会教育士が制度化された背景について...

(正)

社会教育士が制度化された背景について...

以上

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 特別選考制度入学試験問題
〔小論文〕 【学校教育専攻】

解答上の注意

1. 解答用紙の所定欄に、受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
2. 解答用紙が複数枚配付された場合、ホッチキスははずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
3. 問題用紙は「2枚」（本ページ含む）、解答用紙は「1枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2024年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 特別選考制度入学試験問題
〔小論文〕 【学校教育専攻】

問題 以下の6題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) 「知識基盤社会」について説明したうえで、そこにおいてどのような資質・能力が必要とされるか、また、そのような資質・能力を育成するためにどのような学習活動が必要とされているか論じなさい。
- (2) 近年の「教師不足」がなぜ生じているのかを説明し、困難な状況を打開するための有効な手立てについて論述しなさい。
- (3) 地域の学校支援ボランティアについて、大人の学びという観点から論じなさい。
- (4) 社会教育主事に加えて2020年に社会教育士が制度化された背景について論述しなさい。
- (5) 学校教育相談は学校により校内分掌における位置づけが異なる。位置づけの異なる例を挙げ、その背景にある学校側の教育相談に対する見方について論じなさい。
- (6) 学校、あるいは教育現場における「実感を伴った理解」とは何か。また、「実感を伴った理解」を育むために、どのような学習動機が必要とされているのか。これらのことについて、あなたのこれまでの教職経験をふまえ、具体的な事例を挙げて論述しなさい。

